

うじには 物語がある

物語の舞台
探訪MAP付き

古墳時代から何千年と、
“ほんまもん”の歴史が息づく宇治。
さまざまな時代が積み重なり、
形作られた宇治を舞台に
京都アニメーション協力のもと、
紫式部ゆかりのまち宇治PR動画を制作しました。
鮮明なアニメーションで表現された
宇治の街の魅力を掘り下げます。

©京都アニメーション



—— 時代で切り取る

明治時代～現在



歴史が重層する観光地として発展

江戸幕府の崩壊により打撃を受けた茶生産だったが近代化の中で復活し、茶商店が並ぶ茶の街として再生。明治中期には京都と奈良を結ぶ鉄道が通り、豊かな歴史と宇治川遊覧の観光地として発展していく。現在は、世界遺産を含む多くの文化財が所在し、宇治川の美しい景観や茶の香りを求めて国内外から多くの人々が訪れる。

室町時代～江戸時代



日本一と称された“宇治茶”の誕生

室町時代になると、鎌倉時代に伝わった茶の栽培が本格化。時の権力者らの保護を受け、宇治茶の名声が高まっていく。江戸時代には御茶師と呼ばれる、茶園を経営して顧客に抹茶を提供する茶商が登場。江戸幕府からの特権を認められ、徳川將軍家が使う茶を、江戸まで運ぶ「お茶壺道中」が行われた。

平安末期～鎌倉時代



宇治川を挟んで繰り広げられた戦い

宇治橋は平安時代末期に打倒平家を掲げて挙兵した以仁王（もちひとおう）、源頼政の「宇治橋合戦」、源義経と木曾義仲軍が激突した「宇治川先陣争い」をはじめ、度々京の都を守る合戦の場として登場。また、宇治橋上流の中洲・塔の島にある十三重石塔は、宇治川における殺生禁断の象徴として建立された。

—— うじの歴史物語 ——

平安時代



貴族や歌人に愛された美しい街

平安時代になり京の都からもほど近く、表情豊かな山々と川の風情を楽しめる場所として、貴族たちが別荘を営んだ。藤原頼通によって建てられた平等院も、父・道長が「宇治殿」として所有していた別荘だった。『古今和歌集』など時代を代表する歌集にも宇治は多く登場し、『源氏物語』最後の十帖の主な舞台にもなった。

奈良時代以前



『古事記』に残るうじの物語の始まり

うじの歴史物語は宇治上神社や宇治神社のご祭神・菟道稚郎子皇子（うじのわきいらつこのみこ）の物語から始まる。『古事記』や『日本書紀』では、菟道稚郎子皇子が兄の大鷦鷯尊（おおさざきのみこと）に皇位を譲るため、宇治で命を絶たたとされている。飛鳥時代には宇治橋が架けられ、日本三大古橋のひとつとして今も残っている。

宇治の街の歴史は約1700年前の古墳時代にまでさかのぼります。今回制作されたアニメーションには、各時代の特徴が表現された場面も多々登場。その歴史的背景について、宇治の歴史に詳しい専門家に話を聞きました。

「うじ」の街 宇治川を中心に繁栄した

街中に今もなお残る歴史の跡

宇治の街には『源氏物語』の宇治十帖をモチーフとした十二単のレリーフなどが設置されている。アニメにも登場するので現地でもぜひチェックを！



御茶師は幕府の役人としても活躍

江戸時代、幕府領の宇治には代官所が設置され、宇治代官には御茶師の頭取も務めた二家が任命された。代官所も御茶師の屋敷に置かれていた。



馬に乗った武将は実はあの人…！

アニメには豊臣秀吉をモデルにしたキャラクターも登場。秀吉は安土桃山時代、当時あった巨大な池・巨椋池に太閤堤を築くなど、宇治との関連も深い人。



宇治川を挟んであの世とこの世!?



頼通は平等院創建の際、宇治川を挟んで西側が「あの世」、東側が「この世」といったイメージを体现。極楽浄土を表した鳳凰堂を夕日の沈む西側に建設。

教えてくれた人

京都芸術大学
日本庭園研究部門長
杉本 宏さん

考古学・文化的景観学・遺跡学を専門とし、宇治市内の発掘調査や平等院の修復に長年携わる。著書に『日本の遺跡6 宇治遺跡群』『平等院伽藍考』など。



Column 古跡巡りde歩いて学ぶ“宇治十帖”

『源氏物語』最後の舞台に選ばれた宇治の街

平安時代の長編物語『源氏物語』は五十四帖からなり、最後の十帖はその主な舞台が宇治となっていることから、“宇治十帖”と呼ばれる。宇治十帖ゆかりの古跡が、宇治橋を中心とした宇治川の両岸に10ヵ所存在。『源氏物語』に思いを馳せながら巡ってみよう！

45帖 橋姫(はしひめ)



50帖 東屋(あづまや)



46帖 椎本(しいもと)



51帖 浮舟(うきふね)



47帖 総角(あげまき)



52帖 蜻蛉(かげろう)



48帖 早蕨(さわらび)



53帖 手習(てならい)



49帖 宿木(やどりぎ)



54帖 夢浮橋(ゆめのうきはし)



紫式部

世界最古の長編物語と言われる『源氏物語』の筆者。紫式部は実名ではなく、父が「式部省（行政機関）」の役人であったことから、物語のヒロイン「紫の上」にちなんで呼び名。



アニメの 主な登場人物

榎本 茜 (えのもと あかね)

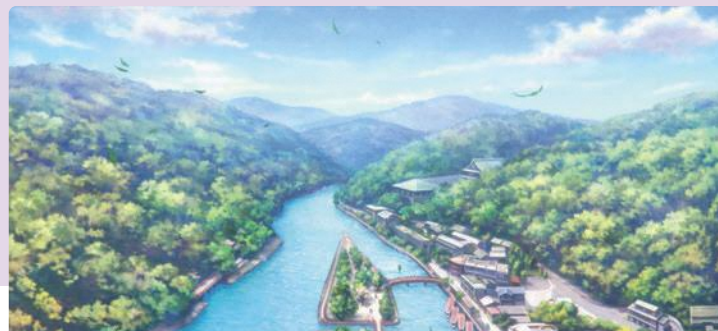
宇治を訪れた23歳会社員。宇治市の花「やまぶき」のスクーフと、お茶の葉のピアスを着けている。宇治を巡る旅が始まろうとした時、みかえり兔のうさ吉と出会う。



うさ吉

その昔、宇治に向かう途中で道に迷った菟道稚郎子皇子をうさ吉が道案内したという言い伝えから、「みかえり兔」と親しまれてきた。背中に市章を背負い茜をナビゲート。

「うじ」は現在「宇治」と書かれるが、昔は「菟道」「うさぎのみち」とも記された。これは菟道稚郎子皇子（うじのわきいらつこのみこ）が宇治を訪れた際、一羽のうさぎが振り返りながら道案内をしたという伝説から由来する。宇治川の東岸には今も「菟道（とうどう）」という地名が残っており、古代寺院跡も多いことから、古代宇治の中心だったことが分かる。現在の市街地が発達したのは平安時代。平等院の西方位に基盤目の道ができ、多くの貴族の別荘が建った。室町時代初期には合戦で一度焼け野原となつてしまいが、復興で新しく造られた道が現在のメインストリート「宇治橋通り」に。平安時代の道に、斜めの道が重なり「宇治トライアングル」と呼ばれる二等辺三角形の珍しい地形ができたのだ。宇治の街には、こうした積み重なる歴史の片鱗が残されている。歴史を知れば、宇治の街歩きがぐっと楽しくなるだろう。



宇治橋から上流を望む、急峻な山間から流れ出す宇治川の景色は千年以上変わらない美しさ。時には、合戦の舞台として、また大阪・奈良と京都をつなぐ要衝として大きな役割を果たした。

うさ吉・茜と巡るおすすめコース

+α

足を延ばして
よくばりうさ吉と
黄檗・小倉
周遊コース

朝から晩まで！
ゆったり茜と
街中満喫
コース

Start!

+α

黄檗・萬福寺を散策

電車 3分

JR宇治駅 (12:00)

徒歩 5分

宇治橋通り商店街でランチ (12:10)

徒歩 5分

平等院 (13:30)

徒歩 5分

橋橋・朝霧橋 (15:00)

徒歩 すぐ

宇治神社 (15:10)

徒歩 すぐ

宇治上神社 (15:45)

徒歩 7分

つうゑん茶屋でお茶 (16:30)

徒歩 すぐ

宇治橋 (17:30)

徒歩 10分

JR宇治駅 (18:00)

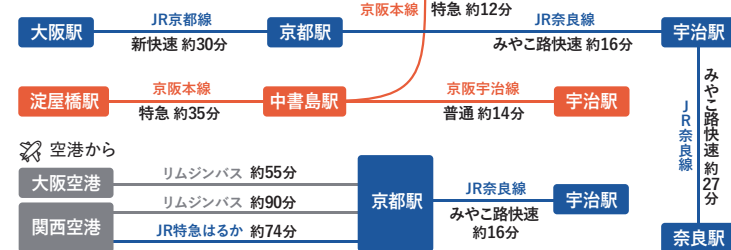
電車 2分

+α 小倉エリアでディナー



Access

大阪・京都・奈良から



JR宇治駅 (9:00)

徒歩 5分

宇治橋通り商店街でモーニング (9:10)

徒歩 5分

橋橋・朝霧橋付近を散策 (9:30)

徒歩 5分

平等院 (10:00)

徒歩 すぐ

ますだ茶舗でソフトクリーム (11:00)

徒歩 5分

宇治神社 (11:30)

徒歩 すぐ

宇治上神社 (12:00)

徒歩 2分

宇治橋付近でランチ (12:30)

徒歩 5分

宇治市源氏物語ミュージアム (13:45)

徒歩 10分

茶づなでお土産&ミュージアム (15:00)

徒歩 5分

宇治橋 (16:30)

徒歩 5分

茶間屋でお茶を購入 (17:00)

徒歩 すぐ

宇治橋通り商店街でディナー (18:00)

徒歩 5分

JR宇治駅 (20:00)

Goal!



うじの歴史や文化の軌跡をたどる

物語の舞台探訪MAP

宇治には現在も、時代ごとの歴史が垣間見える神社仏閣や主要なスポットがたくさん。アニメーションと実際の街並みを見比べながら、歴史物語の舞台となった街を巡ってみよう!

公共トイレ 宇治十帖古跡巡り [P87]



2. 宇治が誇る“宇治茶”を学んで味わう



宇治茶の歴史と文化を学ぶ お茶と宇治のまち歴史公園 茶づな

約400年前、豊臣秀吉が伏見に陸路と水路を集約するために築いた「宇治川太閤堤跡」が残る「お茶と宇治のまち歴史公園」内に2021年オープン。宇治の歴史や文化、お茶について学べるミュージアムのほか、庭園や展望テラス、レストラン、ショップがひとつに。茶臼から抹茶づくりなどの体験プログラムも。

●宇治市菟道丸山203-1 ☎0774-24-2700 9:00～17:00 (ミュージアム最終入場16:30) 無休 入場料600円(体験は別途有料) 📍uji-chazuna.kyoto

茶臼を挽いて抹茶を作る体験は、当日1時間前まで予約可能。大人2,800円～。ミュージアムは実際に手で触れて体感できる展示も。



併設のレストランでひと休み とにまる茶づな 本店

京飴の製造販売を行う「岩井製菓」による茶づな内のレストラン。名物のひやしあめを使ったスイーツに加え、茶そばやカレーなどフードメニューも充実。

●お茶と宇治のまち歴史公園 茶づな内 ☎0774-24-1020 9:00～17:00 不定休 📍tonimaru.com/shop/chazuna.html



アニメCheck!

茜が通り過ぎる茶園はココ! 毎年4～5月は茶摘み体験もできる。

左、ショウガの爽やかな辛みが広がる「ひやしあめパフェ」980円。右、太閤堤をイメージして盛り付けされた太閤堤カレー800円。

アニメに登場するお茶屋さんのモデルはココ!

つうるん茶屋

創業は平安時代末期。宇治橋の橋守として旅人に茶を提供し、旅の無事を祈願していた茶人・通圓が初代。アニメにも登場するお抹茶「鳳凰の昔」と茶団子のセット1,160円で、宇治川を眺めながら一服したい。

●宇治市宇治東内1 ☎0774-21-2243 10:00～17:30(16:00LO) 不定休 🍷不可 📍tsuentea.com



ますだ茶舗

平等院正門前に店を構える宇治茶100%にこだわった老舗。名物は高級抹茶「初昔」を使用し、挽き立ての抹茶パウダーをトッピングした宇治抹茶ソフトクリーム500円。アニメで茜とうさ吉がむせるほどの抹茶の量に驚き!

●宇治市宇治蓮華21-3 ☎0774-21-4034 10:00～18:00(カフェ17:00LO) 不定休 🍷不可(店内は可) 📍masudachaho.com



中村藤吉本店

製茶工場として使われていた建物を改修し、モダンな雰囲気のお茶スペースに。厳選した抹茶を贅沢に使い濃厚な香りとほろ苦い味わいに仕上げた生茶ゼリイ「抹茶」1,800円は必食。宇治川そばの平等院店もチェックを。

●宇治市宇治沓番10 ☎0774-22-7800 10:00～17:30(カフェは16:00最終受付) 不定休 🍷可 📍tokichi.jp



山本甚次郎

茶農家による抹茶専門店。扱うのは400年以上続く“ほんず栽培”で育った自家茶園のもの。よしずや藁で遮光することで、お茶の香りや旨みがよりいっそう鮮明に。碾茶葉「あさひ」「さみどり」共に12g 1,500円。

●宇治市宇治妙楽36 ☎080-8520-5059 12:00～15:00 月～木曜休 🍷可 📍@yamamotojinjiro



アニメCheck!

鳳凰堂が映る池の水面には平安時代の人々の世界が描かれている!

1. 当時の面影を残す歴史的建造物を訪ねて



「みかえり兎」に縁ある古社 宇治神社

学問の神様・菟道稚郎子命(うじのわきいらつこのみこと)を祀る古社。重要文化財の本殿の中には菟道稚郎子命の木造神像を奉安する。かつて菟道稚郎子命を一羽のうさぎが振り返りながら宇治へ案内したという「みかえり兎」の伝説があり、うさぎに縁が深い神社。

●宇治市宇治山田1 ☎0774-21-3041 参拝自由(社務所は～16:30) 📍uji-jinja.com



アニメCheck!

祭壇のみかえり兎がうさ吉に変身。茜とうさ吉の追いかっこスタート!



境内にはうさぎの置物が3つ置かれており、毎月1日にはブロードのみかえり兎も登場するとか。



世界遺産

現存する日本最古の神社建築 宇治上神社

うじかみじんじや

平安時代後期に建てられた本殿は、現存する神社建築としては日本最古。内部に左殿、中殿、右殿の3棟が並び、流造の覆屋で覆った形式が珍しい。ご祭神の菟道稚郎子命は『源氏物語』宇治十帖に登場する八の宮のモデルともいわれている。

●宇治市宇治山田59 ☎0774-21-4634 9:00～16:00閉門 参拝自由 📍ujikamijinja.jp



左、鎌倉時代初期の建築で、宇治離宮の遺構と伝わる寝殿造風の優雅な拝殿。本殿は仏徳山の麓に鎮座する神聖な佇まい。



アニメCheck!

茜が最後のシーンで手にしていたのは宇治上神社のうさぎみくじ。



源氏物語の奥深き世界へ ミュージアムで 学ぶ&体験!



『源氏物語』最後の十帖の主な舞台となった宇治には、物語の世界に浸ることができるミュージアムが。ファンも、そうでない人も! ここでしかできない体験を。

体験する!



「垣間見よう」コーナーでは、御簾がかかったボックスを覗いて垣間見体験。5種類の香りの組み合わせを当てて源氏香体験も。組み合わせが決まったら、52個のスタンプから正解を探し出して押してみよう!

学ぶ!



全長5.5メートルの実寸サイズの牛車からは女房装束の袖口や裾が出ており、当時の「出衣(いだしぎぬ)」を再現している。



アニメCheck!

主人公・薫と友人の匂宮が姉妹を巡って繰り広げる恋物語を再現!



大人気! 源氏物語入門講座も開催中

宇治市源氏物語ミュージアムでは「源氏物語をより多くの人に楽しんでもらいたい」と、館長・家塚智子氏による入門講座を定期的に開催。一話完結型なので、全く知らない人でも安心。詳しくはHPにて確認を。



『源氏物語』の世界に浸るひととき 宇治市源氏物語ミュージアム

『源氏物語』の世界観を体現した世界で唯一のミュージアム。「宇治の間」「平安の間」「物語の間」といった3つの間があり、実物大の牛車や光源氏の邸宅・六条院の復元模型、垣間見などの体験型展示によって、楽しみながら学べる仕掛けがたくさん。平安時代の建築様式、寝殿造を模した外観も見どころのひとつ。

●宇治市宇治東内45-26 ☎0774-39-9300 9:00~17:00(16:30最終入館) 月曜休(祝日の場合は翌日休)&年末年始 入館料600円



源氏物語ミュージアムの詳細はコチラ!



Special Site

キービジュアルの世界をもっと知りたい!

動画視聴も
こちらから



問い合わせ先

宇治市観光振興課

宇治市宇治里尻5-9

JR宇治駅前市民交流プラザ「ゆめりあうじ」1F

☎0774-39-9408

